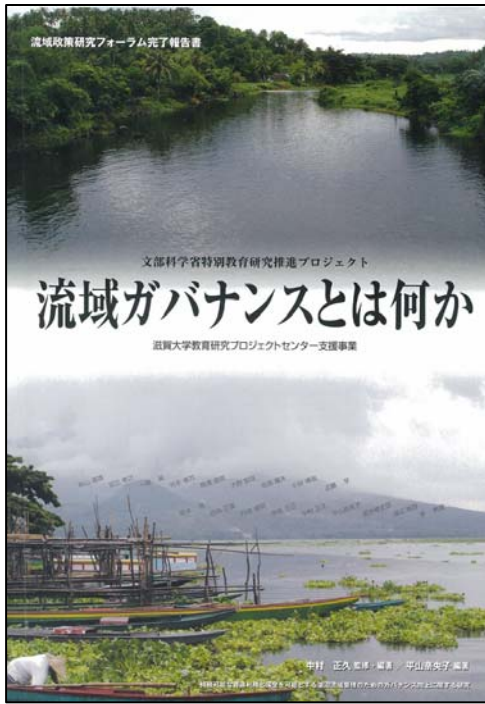
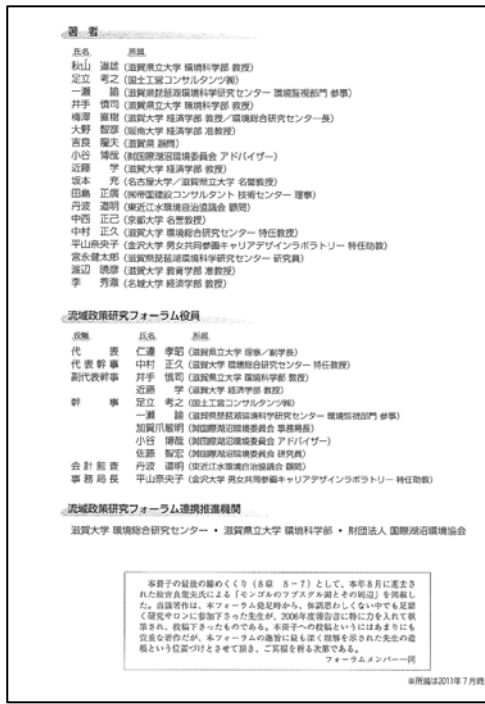
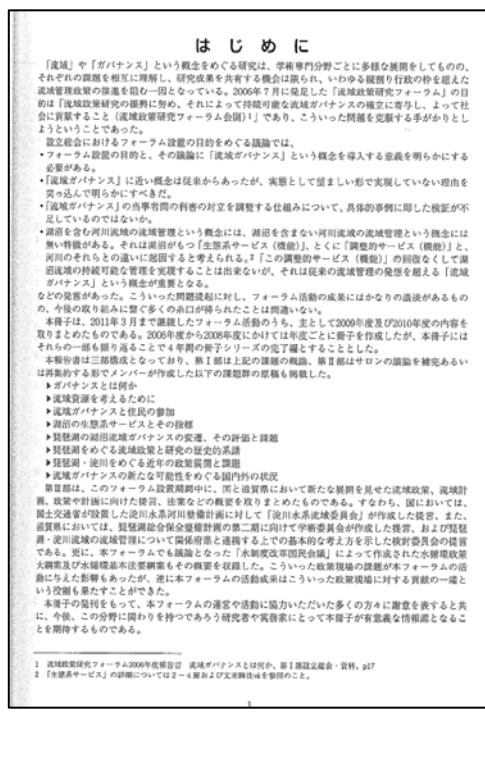
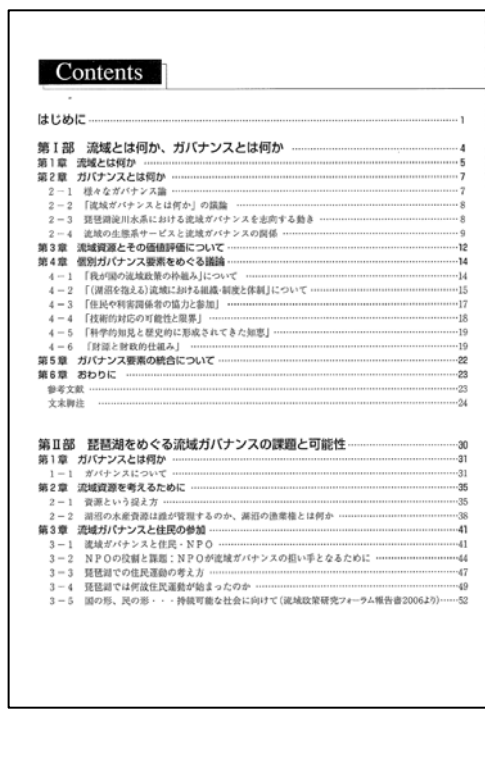


「第1回愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会」に関する傍聴者の御意見と傍聴者の質問に対する回答など

氏名	御意見	質問に対する回答など
田島 正廣	<p>① 委員に農業用水需要解析に関わる専門家が居ない。誰がどのような方法で木曾川の水使用実態（供給量と需要量）を検討するのか。提示して頂きたい。</p> <p>② 水使用実態把握する方法（フロー）が示されていない。調査方法を提示して頂きたい。</p> <p>③ 前回の委員会では、農業用水の使用実態についての報告が無かった。早急に使用実態の報告会を開いて、説明して頂きたい。</p> <p>④ 河口堰の開放により、長良川用水地区の塩害が危惧されている。そのため長良川用水の取水水質（勝賀地点）を定期的に把握する必要がある。早急に岐阜県及び東海農政局と協議し、協力を仰ぎ調査を実施されたい。</p> <p>⑤ 以前に田島は、「農業用水における水資源管理の実態と課題—木曾川水系を事例として—」を、文部省科学特別教員推進プロジェクト流域政策研究フォーラム完了報告書2011年10月に掲載した。参照されたい。</p> <p>⑥ その他に、下記の資料を参照されたい。</p> <p>⑦ 田島著1988年に水資源・環境研究「木曾川の濁水が提起したものは何か。」</p> <p>⑧ 伊藤智章著2009年7月31日朝日新聞（夕）名古屋本社版「農地半減「水量そのまま」濃尾用水東海農政局が水利権主張」</p> <p>⑨ 中西準子著1994年9月1日朝日新聞「農業水利権に敬意払い都市用水への転用図れ」</p>	<p>質問に対する回答など</p>
	<p>以上</p> <p>(下記資料の拡大版については別添をご覧ください)</p>	
		
		

第4章 澱川の生態系サービスとその指標
4-1 生態系サービスはなぜ重要なのか
4-2 重要生態系サービスがどこにあるのか
4-3 重要生態系サービスの評価方法
4-4 重要生態系サービスのモニタリング
4-5 重要生態系サービスの保全
4-6 重要生態系サービスの向上
4-7 重要生態系サービスの向上
4-8 重要生態系サービスの向上

第4章 個別ガバナンス要素をめぐる議論
本稿の構成は、統合的流域管理 流域の構成は、統合的流域管理 流域の構成は、統合的流域管理
1) 統合的流域管理の考え方
2) 統合的流域管理の考え方

第5部 資料編
第1章 「マゼンレイク21世紀」に関する研究
第2章 新たな河川整備をめざして
第3章 澱川水系河川整備計画
第4章 水循環基本法整備
第5章 「澱川流域のこれからの流域管理に向けて」

また第2の課題については、
3) 統合的流域管理の考え方
4) 統合的流域管理の考え方

2) ガバナンス向上をめぐる代議的議論：「流域ガバナンス向上」
1) 流域ガバナンス向上の考え方

4-2 「統合的流域管理」流域における組織・制度整備の考え方
1) 統合的流域管理の考え方

23 本稿資料編 澱川水系河川整備計画
24 本稿資料編 澱川水系河川整備計画

の調整を図るべきである、と述べている。
1) 統合的流域管理の考え方

2) ガバナンス向上をめぐる代議的議論：「流域ガバナンス向上」
1) 流域ガバナンス向上の考え方

3) 統合的流域管理の考え方
4) 統合的流域管理の考え方

25 本稿資料編 澱川水系河川整備計画
26 本稿資料編 澱川水系河川整備計画

2) ガバナンス向上をめぐる代議的議論：「流域ガバナンス向上」
1) 流域ガバナンス向上の考え方

3) 統合的流域管理の考え方
4) 統合的流域管理の考え方

4-3 「住民や利害関係者の参加」
1) 統合的流域管理の考え方

2) ガバナンス向上をめぐる代議的議論：「流域ガバナンス向上」
1) 流域ガバナンス向上の考え方

3) 統合的流域管理の考え方
4) 統合的流域管理の考え方

27 本稿資料編 澱川水系河川整備計画

4-4 「統一的流域管理」
1) 統合的流域管理の考え方

2) ガバナンス向上をめぐる代議的議論：「流域ガバナンス向上」
1) 流域ガバナンス向上の考え方

3) 統合的流域管理の考え方
4) 統合的流域管理の考え方

4-3 「住民や利害関係者の参加」
1) 統合的流域管理の考え方

2) ガバナンス向上をめぐる代議的議論：「流域ガバナンス向上」
1) 流域ガバナンス向上の考え方

28 本稿資料編 澱川水系河川整備計画